

多様な人材の活躍で 地域・社会に求められる企業へ

顧客のニーズに対応するとともに、持続可能な社会形成に貢献できる製品やサービスを提案し、更に提供することで地域・社会に求められる企業を目指すこと。多様な人材の活躍ができる職場環境づくりを進めること。社会の一員として地域・社会の発展に貢献し、共に成長していくことを目指しています。

技術による貢献

カラーマネジメント

印刷物をつくる上で、プリンター・デジタルブルーフ・オフセット印刷という各工程の印刷機器に対して色の差を解消し、高品質な印刷物をつくるのが、印刷会社として重要なテーマとなります。

各工程で出力するために使用するトナーやインキ、紙の違いを考慮し、色の最終段階である印刷を基準にプロファイルを作成。そのプロファイルをベースにカラーマッチングを確立し、各工程で管理・運用を行っています。また、印刷インキによる汚れなどトラブルを未然に防ぐため、多種多様にある紙質に沿った当社独自の網点基準を設け、データの作成段階から高品質とリスク回避を図り、お客さまの期待と信頼に応えられるよう努めています。色の品質安定を図ることで、効率化やコストダウンといったメリットにもつながっています。

オンデマンド印刷

オンデマンド印刷は、オフセット印刷で使用するPS版が不要となり、パソコンからデータを直接プリンタに送り、印刷する仕組みとなっています。

作業時間が短縮され、小ロット・短納期に適し、PS版や廃液、印刷の損紙や溶剤など資材・廃棄物も削減されます。また、印刷溶剤を使わないことで大気や人体への影響もなく、人と環境にも配慮された印刷方式となっています。

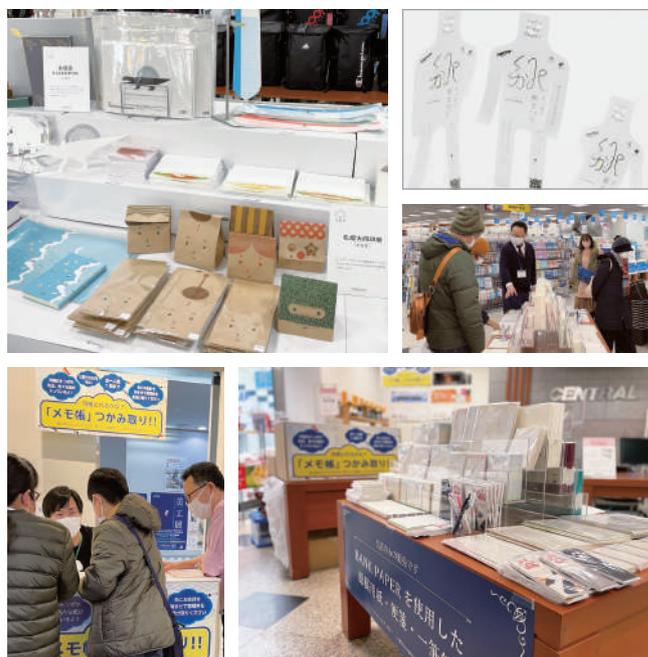
オンデマンド印刷は必要なときに、必要な分だけ印刷出来るということがメリットになりますが、オフセット印刷と比較するとインキ成分の違いなどにより、色の差や広範囲のベタに対する色ムラ、緻密なデザインの再現に向かないなどというデメリットもあり、品質面で若干劣るためオフセット印刷との使い分けが必要となります。

DAIDO stationeries

印刷とあそびゴコロのあるデザインの魅力を広く発信していきたいという思いから生まれた印刷会社の文房具ブランド。コンセプトは「個性」。社員の様々なアイデアをカタチにしていくブランドです。クスッと笑えたり、つい人に見せたくなる暮らしの中にあそびゴコロを取り入れた文房具をホームページやイベントなどで定期的に発信しています。

北海道で活躍する印刷・加工のプロフェッショナル4社が集まった「北紙道」チームのメンバーとしても活動し、様々なイベントにも参加しています。

また、SDGsの観点から捨てられるはずだった印刷後の断裁紙片を利用し、色玉の付いた様々な種類の紙をメモ帳にしてアップサイクルにも取り組んでいます。



ハラスメントの防止に関する基本方針

理 念

札幌大同印刷は、ハラスメントのない健全な職場環境の確保を企業の責任と考え、「ハラスメントの防止等に関する基本方針」を定めます。

基本方針

1. 個人の人権を尊重し、多様な価値観を受入れる組織づくりを行います。
2. 人権を侵害する差別的な言動やハラスメント行為等、個人の人権を損なう不当な行為を許しません。
3. ハラスメントに関する定義
 - (1) セクシュアルハラスメント
不快にさせる性的な言動によって、他の従業員に苦痛を与え、就業意欲の低下や就業環境の悪化を引き起こす行為を指します。また、抗議等を行った従業員に対し、不当な人事考課や配置転換等の不利益を与える行為も該当します。
 - (2) マタニティハラスメント
妊娠・出産・育児・介護等に関する制度等の利用に関する言動や嫌がらせにより、他の従業員に苦痛や不快感を与え、就業環境を害する行為を指します。また、解雇や不利益な取り扱いを示唆する行為も該当します。
 - (3) パワーハラスメント
職務上の地位や人間関係等における職場内の優位性を利用し、職務の適正な範囲を超え、または職務と関係の無い事項に関し、他の従業員に対して精神的、身体的苦痛を与え、就業環境の悪化や雇用に関する不安を発生させるような行為を指します。
 - (4) その他のハラスメント
その他にも、精神的な嫌がらせを繰り返して相手の尊厳を傷つけ、就業環境を悪化させたり、性別・出身地・学歴・人種・宗教等を理由として差別的発言や人権の侵害等もハラスメントに含まれます。
4. この方針は、従業員のみならず、札幌大同印刷に関係する全ての方を対象とし、全ての関係者が互いの信頼の下、良好な人間関係を構築し、活気ある職場を目指します。
5. ハラスメントに関する相談窓口を設け対応します。実際に生じている場合だけでなく、生じる可能性がある場合や放置することで就業環境が悪化するおそれがある場合も含め対応します。
6. 相談者はもちろんのこと、協力者等についてもプライバシーを厳守し、不利益な取り扱いを行いません。
7. 相談を受けた場合には、事実関係を迅速かつ正確に確認し、事実が確認できた場合には、速やかに問題解決と再発防止に当たります。
8. ハラスメント行為者には、就業規則第 41 条減給、第 42 条出勤停止、第 43 条降格(4)(10)、第 44 条懲戒解雇(5)(6)に基づき、懲戒処分を含め厳正に対応します。
9. 職場におけるハラスメントを防止するための啓発及び研修を行います。

制定 2010年6月1日 改訂 2020年8月1日

労働・職場環境づくり

人権の尊重・ハラスメントの防止

人権の尊重とセクシュアルハラスメント・パワーハラスメントなどの人権を侵害するハラスメント行為の防止は、私たち企業にとって重要なリスクマネジメントの一つとして、全従業員を対象としたハラスメント教育を実施しています。また、相談窓口を設置して、従業員が安心して働ける職場環境づくりにも取り組んでいます。

労働安全衛生

従業員の健康を守り、安全で快適な職場環境をつくるため、有機溶剤を扱う印刷作業従事者は、労働安全衛生法に則り有機溶剤における中毒予防のための特定健康診断を年2回実施しています。また、専門機関による作業環境の定期的な測定を実施し、健康障害の防止などに取り組んでいます。

2020年から新型コロナウイルス感染症の拡大という未曾有の危機に直面し、社員とその家族の健康を第一に考え、感染対策としてテレワーク・WEB会議の推進、検温や社内の消毒、従業員への啓蒙、感染者の対応、など感染防止対策を徹底して実施しました。

メンタルヘルスへの支援

全従業員が心も健康で生き生きと活躍するために、社内各部門や社外の専門機関などと連携して各方面から従業員をフォローするよう努め、ワークスタイルの変革や柔軟な働き方ができる体制づくりに取り組んでいます。

ダイバーシティの推進

「互いの人間性を尊重し、幸福の実現を目指す」を行動指針に定め、多様な人材が遺憾なく能力を発揮し、意欲的に仕事に取り組み、女性やシニア層など多様な価値観を有する人材が一層活躍できる職場づくりを目指しています。

人財の育成

会社の財産である従業員の多様性を尊重し、職業人としての誇りと自覚を高め、一人一人が能力を発揮できる職場環境づくりを目指しています。また、モノづくりに真摯に向き合い、創造性と協調性のある考え方が出来る人財を育てることで、企業の持続的な成長につなげていきます。

地域との共生・社会との協調

ペーパーギフト

印刷予備紙の余りや断裁して仕上げ時に出る端切れ、紙が古くなって変色・退色するなど、製品として使用できなくなることから、紙をリサイクルに出す前にアップサイクルの視点で子どもたちに有効に使ってもらい、紙を通して子どもたちの多様な可能性を伸ばす活動の一助を担いたい。また、紙を扱う印刷業として少しでも多くの子どものために紙に触れてもらい、紙の文化を次世代につなげていきたいと考え、不定期ですが紙の提供をしています。



2022年には、札幌市西区・手稲区の児童会館、札幌YMCA、稚内私立勇知保育所にA3換算で118.875枚提供させていただきました。紙は子どもたちのお絵かきや工作、学習シート、お知らせなど様々な活動に活用されています。

2022年には、札幌市西区・手稲区の児童会館、札幌YMCA、稚内私立勇知保育所にA3換算で118.875枚提供させていただきました。紙は子どもたちのお絵かきや工作、学習シート、お知らせなど様々な活動に活用されています。

環境報告書展

事業者と社会との環境コミュニケーションツールである環境・CSR・サステナビリティのレポートなどを収集して広く市民などに公開し、環境活動が一層推進されることを目的とする、札幌市主催「環境報告書展」に毎年参加しています。



文房具メーカー見本市2022

2022年3月11日・12日の2日間、3年振りに大丸藤井セントラルにて開催されたイベント「文房具メーカー見本市2022」に参加しました。

DAIDOステーションの販売とともに、製品へ仕上げ時に出る印刷の色玉がついた断裁紙片や予備紙の余り紙などをメモ帳として生まれ変わらせて、メモ帳のつかみ取りを行い、たくさんの方々につかみ取りを楽しんでいただきました。



第16回 環境科学展

2022年8月1日～21日の期間、札幌市青少年科学館で開催された「第16回 環境科学展」に参加しました。2022年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での活動は出来ませんでした。札幌大同印刷が取り組む環境活動を紹介するパネル展示とサステナビリティレポートを配布しました。

WEラブ赤ちゃんプロジェクト

厚別区役所の取り組み「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」に賛同しています。

厚別区の企業として、赤ちゃんの泣き声を「その泣き声、私は気にしませんよ」と温かく見守るメッセージを表明して、子育て世代にやさしい厚別のまちづくりを応援しています。

